

自己評価結果等報告書

令和 8 年 2 月 16 日

1 事業所情報

事業所の名称	一般社団法人みかさの里 チャイルドケアエイトぱれっと		
事業所番号	4650800032		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
所在地	鹿児島県出水市向江町1-45		

2 公表状況

公表日	令和	8 年	2 月	16 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	(URL	mikasanosato.net)
	<input type="checkbox"/>	会報等	()
	<input type="checkbox"/>	その他	()

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	双津 正美
連絡先 (TEL)	0996-68-1408

※公表している自己評価表を添付すること。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	一般社団法人みかさの里 チャイルドケア エイトぱれっと		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域交流や家族交流会、園外活動等を積極的に取り入れております。	地域交流や園外活動を積極的に行う事で、社会性や協調性を養ったり、感受性や好奇心を育めるようにと考えております。	他にももっと季節ごとの行事や季節感を感じられる活動、取り組みを積極的に取り入れていけたらと思っております。
2	保育士、児童指導員、公認心理師といった専門職が支援に携わっております。	毎日、支援前と支援終了後に職員全体でミーティングを行い、お子様の様子や状況を各支援員の立場から分析して話し合い、次のより良い支援に活かせるよう取り組んでおります。	もっと今以上に、客観的な評価や分析、アセスメントを行っていき、強みを活かした支援や環境整備を行っていきたいと思います。
3	お子様の状況、発達段階に合わせた支援を常に考え、提供させていただいております。	お子様の自立に向けて、個々に合わせた関わり方、それぞれの課題に合わせた支援を、全職員が共通認識を持って取り組むよう努めております。	職員全体でもっと活動内容の充実を図る為の話し合いや意見交換を行っていき、集団であったり個別であったりなど、発達段階に合わせた支援を提供出来る環境づくりに務めていきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、バリアフリーでなかったり、柱があったりと、限られた空間で支援をしている為、利用児童数によってはスムーズにいきにくい時が見られる事はあります。	利用児童の状況によっては部屋を分けて支援を行う事がありますが、部屋ごとの職員配置をする際、勤務状況や利用児童数によっては職員の思う療育という観点に対して十分な支援を行えていないのではないかと思う事があります。	お子様の特性などを考慮していきながら、日々の支援内容の更なる充実を職員全体で話し合い、組み立てていければと考えます。
2	園庭がなく、砂場のみしか無い為、園内での活動が限られてくる所はあります。	元々の建物の構造上、仕方がない部分ではあります。	現在も継続して行っておりますが、お散歩や公園遊び、地域交流センター訪問等を積極的に行っており、今後も安全に留意しながら継続して行っていきたいと思っております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	一般社団法人みかさの里 チャイルドケア エイトぱれっと
------	-----------------------------

公表日 令和8年 2月16日

利用児童数 令和7年12月31日現在 17名

回収数 16名(94.1%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			1		限られた空間の中で、子供達の支援に支障が出ないよう考えております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1		利用児童数によっては配置が厳しい時はございますが、職員が協力して、しっかりと支援にあたらせていただいております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1		室内に関してはほぼバリアフリー化していますが、玄関等、スロープ設置などの十分な対応がまだされていない現状ですので、検討していきたいと考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				色々考えていただき、ありがとうございます。	こちらこそありがとうございます。今後も一層精進していきたいと思っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				先生とお話させていただいて、参考にさせていただいています。	ありがとうございます。今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				色々な活動を楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もお子様方が楽しいと思ってくれるような支援内容の充実を図っていききたいと思います。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	1		2	交流センターで地域の方とのふれあいや、ぱれっと交流会もあるので良いと思っております。	市民交流センターでの交流は子供達もとても楽しんでくれているので、継続して行っています。各、園さんとの交流につきましては、なかなか実現できず申し訳ございません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				考えていただいています。	こちらこそありがとうございます。これからも丁寧な対応を心掛けていきたいと思っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15			1		今後、皆様にしっかりとご納得していただけるよう努めてまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				連絡帳を丁寧に書いていただいているので、様子がよくわかります。インスタグラムもよく見えています。	ありがとうございます。今後もこれまで以上に丁寧な対応を心掛けていきたいと思っております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15			1	活動内容がよく分かり助かります。	今後は、今以上に保護者様同士の交流の機会や、ご家族参加の活動などをもっと増やしていけたらと思います。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16				Instagramで見えています。	ありがとうございます。これからも色々な発信が出来る様、努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3				これからもお子様方楽しんでいただけるよう、職員が一丸となって頑張りたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				いつもありがとうございます。	こちらこそありがとうございます。これからも職員一同、精進していきたいと思ひます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
一般社団法人みかさの里 チャイルドケア エイトぱれっと		令和8年 2月16日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援内容に応じて指導室を分けるなどして対応しております。	建物の構造上、柱など危険箇所が多いが、防護マットを貼ったり、日々職員が怪我等無傷よう注意を払っています。引き続きしっかりと対応を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		パート職員等を配置するなどして支援補助をお願いし、充実を図るようにしております。	一日の利用児童数によっては人員が足りないかと思う時もありますので、職員配置につきまちは、また改めて考えていきたいと思ひます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		児童の発達状態に合わせて指導を分けて行えるような環境づくり、段差も補助台を置くなどして配慮しております。	建物の構造上、段差や柱、あつたりするので、可能な限り安全対策はしているのですが、また気付いた点などが出来た場合にはその都度対応し、児童が過ごしやすい環境設定を行っていきたくと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子供たちが落ち着いて過ごせるような環境作りを心掛けております。	建物の構造上、バリアフリー化はされておませんが、玄関の使い方、トイレなどの誘導も含めて、職員がしっかりと対応しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		指導室自体は一つしかありませんが、別室を活用し、その時の状況に合わせて臨機応変に対応するようにしております。	支援内容や支援方法などをもっと考慮していただけるようしっかりと考えていきたくと思ひます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月間、クワ、二回のミーティングを行い、朝はその日の活動や配慮、経費申請の確認、夕方はその日の振り返り、今後の支援等を話し合い、共通認識を持つよう取り組み、主任などは、さらに個別で支援や方針などを話し合いながら、職員に対して意識を持って取り組めるよう努めております。	引き続き、職員全員が意識を持って考え、取り組んでいけるよう努力してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		一年に一度、職員自己評価表と共に、保護者様にも評価表のご記入をお願いしており、そこでのご意見に対しては、真摯に受け止め、改善に努めさせていただいております。	保護者様には、いつもご協力頂きましてありがとうございます。引き続き継続して行ってまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見等につきましては、その都度話をさせてもらうように努めております。不定期ですが、個別で話をする機会も作るようにしております。	職員全員が滞りなく円滑に支援が出来るように、これからも努めていきたくと思ひます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の方による外部からの評価をいただく所まではいったっていない状態です。	手段、方法などに関して、しっかりと考えて対応出来るように努めていきたくと思ひます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本部の方で手配をしていただき、必要な各研修の実施がなされております。	今後、支援などについての技術向上の為の研修等、本部の方とも協議させていただきながら、質の向上に向けての取り組みが出来ていければと考えております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に作成、公表していると認識しております。	これからも適切に作成、公表していきたくと思ひます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		適切に作成していると認識しております。	これからも適切に丁寧に作成していくよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の作成時には、事前に全職員から対象児童に関する現状の報告を受け、検討し、保護者様と面談後、再度、職員で児童の支援方法について話し合い、共通理解をしていくようにしております。	今後も引き続き、子供達にとっての最善な支援を行っていけるよう、職員一丸となって取り組んでいきたくと思ひます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画書に基づいて職員全体で情報共有していきながら支援に取り組ませていただいております。	引き続き、職員全員が意識を持って考え、取り組んでいけるよう努力してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各児童によっての特性を踏まえた上で、現状の確認も行い、職員との共通認識の上、保護者様とも連携させていただき、定期的に作成、確認しております。	引き続き継続して行ってまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者様や関係機関との聞き取りや連携を行っていきながら、必要であろう支援目標、支援内容を設定し、ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。	今後もガイドライン項目を基に、必要とされる支援目標や支援内容を精査し、職員としっかりと話をしていきながら、日々の支援に活かしていけるような計画書の作成に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員の中で主任を配置し、全体での話し合い等の取りまとめを行い、職員全体で共通認識をもって立案しております。	これからも職員全体で、各々の支援計画に沿った支援が出来る様、取り組んでまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた活動を取り入れていくなど、活動が固定化しないよう常に職員全体で考え、計画を立てるようにしております。	これまで以上に様々な事を考えていきながら取り組んでいけるよう、職員全体で頑張っていきたいと思ひます。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		成長度や支援内容に応じて、その都度職員間で打ち合わせを行いながら、個々のお子様合った支援内容を取り入れていくようにしております。	引き続き、職員全員が意識を持って考え、日々の支援に取り組んでいくよう努力してまいります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼、ミーティングを行い、1日の流れを確認し、全職員で共通認識を持ってその日の支援に取り組むようにしております。	引き続き継続して行ってまいります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援終了後に終礼を行い、1日の振り返り、今後の支援についての話し合いを全員で行い、改善点の対応についても話し合い、職員全員で共有しております。	こちらも引き続き継続して行ってまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ミーティングノートを作成しており、朝礼、終礼、ミーティング等の記録を必ず残すようにしております。	こちらも引き続き継続して行ってまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		各児童のモニタリングの月には全職員より現状の聞き取りを行い、見直し等を適切に行っております。	こちらも引き続き継続して行ってまいります。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		適切に行っております。	継続して行ってまいります。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		適切に行っております。	継続して行ってまいります。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園さんに関しては、出来る限り担当者会議を行ったり、就学前の児童さんに関しては移行支援を行っております。	今後も継続して行ってまいります。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		出来るだけ多くの関係各所との連携、共有を図らせていただきたいと思います。	こちらに関しては、全卒園予定児童に対して出来るかという所に関しては、徹底までには至っていないと思っておりますので、今後、積極的に取り組んでいくよう努力いたします。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		当法人の中の別事業所である児童発達支援センターとの間では、色々話をさせていただく機会を設けております。	各所という所までには至っておりませんので、今後、そのような機会を設けていく事も検討していきたいと思っております。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育園や認定こども園、幼稚園との交流までには至っておりませんが、当法人内の別事業所の子供達との交流などは行っております。	幼稚園、保育園等、地域での他児童との交流は確かにしておりますので、今後、どのような形で交流等を行えるのか、検討していきたいと思っております。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日常は連絡帳にて状況、状態等を取り取りさせていただき、定期的に保護者様と面談を行い、情報共有、共通理解をさせていただいております。	今後も継続して行ってまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族の参加可能な研修等についての情報提供は行っておらず、申し訳ございません。ペアレントトレーニング等に関しては、血縁等の中でなるべく行わせていただくよう努めております。	ご家族に対して、今まで以上に色々な状況を踏まえていきながら、配慮していく事が出来る様努めてまいります。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担等については、契約時にきちんと説明させていただいております。支援プログラムについても公表させていただいております。	今後も継続して行ってまいります。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に保護者様と面談させていただき、状況などを話し合い、今後に向けての支援方針等を随時、確認させていただいております。	今後も継続して行ってまいります。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書の内容は変更点なども含めて定期的にお話させていただき、新しい計画書を作成し、保護者様にご説明、確認をして頂いたらうで同意を得て、ご署名頂いております。	今後も継続して行ってまいります。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行っていただいた際や、連絡帳、お電話等でご相談頂いた際は迅速に対応しております。送迎時などにご相談頂いた際は、職員が対応させていただきます。事業所に持ち帰り、必ず面談で共通理解を行います。	引き続き継続して行ってまいります。必要に応じては、専門職職員なども交えてお話をさせていただく事も行ってまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会は無いのですが、保護者会に申しましては開催させていただき、その中で皆様と交流していただく時間を設けるようにしております。また、年間の活動の中で、親子、ご家族参加型の行事を定期的に行い、きょうだいで交流の機会も設けております。	今年度の保護者会につきましては、開催回数が少なかったので、もっと定期的に行っていけるよう善処してまいります。保護者様同士の交流に繋げていけるような行事ももっと考えていきたいと思っております。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		38と同様、迅速に対応させていただいております。	こちらも同様、継続して行ってまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、行事予定や活動内容はお便りとして配布させていただいております。また、ホームページやInstagramなども活用させていただき、海難の様子などは定期的に発信させていただいております。また、連絡体制等といったしましては、保護者様LINEも活用させていただいております。	こちらも継続して行ってまいります。ホームページやInstagramなどは、なるべく定期的に掲載出来る様、努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		各職員、周知徹底を行っております。	継続して行ってまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々の業務の中でも常に行っております。	引き続き行ってまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の施設等を定期的に利用させていただき、交流の場を設けていただいております。	招待させていただき取り組みには至っておりませんでしたので、今後、どこかの機会ですらういった所も考えていけたらと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの作成を行い、全職員周知しております。また、訓練につきましても、防犯、防災につきましては定期的に、感染症につきましては年2回の対策、訓練を行っております。	各訓練につきまして、内容をもっと充実させていけるよう、見直しを随時行ってまいりたいと思っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの作成もされております。定期的に訓練も行い、内容の見直しもしております。	45同様、内容の充実、定期的な見直しを図りながら行ってまいりたいと思っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		持病に関しては契約前に確認させていただき、ご利用いただいから服薬等につきましては、随時面談や連絡帳、お電話などで確認させていただき、共有しております。	継続して行ってまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーにつきましても、契約前に確認させていただき、変更等がありましたらお電話や連絡帳で再度確認させていただき、また、診断書等の内容なども事業所で確認し共有、対応させていただいております。	引き続き継続して行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画も作成しており、各訓練をはじめ、児童が利用するであろう園内外の危険箇所等の確認も行ってまいります。	引き続き継続して行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に関しては公開しておりますが、保護者様への周知という所に関しては、確認までには至っておりませんでした。申し訳ございません。	保護者様へ取り組み内容等、周知して頂けるよう、善処してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有、確認、再発防止に向けての話し合い、対策の周知徹底を行っております。	引き続き継続して行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止についての研修は、職員全員、毎年参加しております。	全体研修の参加は全員しておりますが、事業所内での職員間の共通認識をもっと深めていけたらと思います。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		運営規定にも記載されており、事前に説明をさせていただいております。	現状、身体拘束の事例がないので、今後、発生する可能性などのある場合には、規定に基づいて厳正に対処してまいります。	